

## 話す力

## トレーニング

全体と部分とを意識して話す力

## 放送文

- ・ゾウを説明する
- ・なぞなぞをつくる

今回の学習は、『全体と、一つひとつの部分とを意識しながら話す力』をつける学習です。相手にわかりやすく物事を伝えようとするとき、私たちはいろいろな工夫をして話します。その工夫の一つが、今回取り組む「全体」と「部分」とをはっきりさせて話すという方法です。たとえば、今までに一度も「キリン」を見たことのない人に、「キリン」とはどんな動物かをわかりやすく説明しようとする場合、あなたならどう説明しますか。そんな場面では、まず「キリン」の全体的な様子を先に説明し、次に「首の部分」「胴の部分」「足の部分」と続けて説明することが大切になります。今回はそのような話し方を身につける練習です。それでは練習を始めましょう。

## 例

今までに一度も「ゾウ」を見たことのない人に、「ゾウ」とはどんな動物かを、全体と部分とを意識して、わかりやすく説明しなさい。

では解答です。「ゾウ」の説明の一例を聞いてみましょう。

「ゾウという動物は、ダンプカーのように大きな体をした四本足の動物です。まず、鼻は、ホースのように長く、その鼻で器用に食べ物をつかみ、口に運ぶことができます。次に、耳は、大きなうちわのようです。さらに、足は、大きな木の幹のように太く、その足でゆっくりと歩きます。」

どうですか。全体と部分とを意識して話していましたね。最初に「ゾウ」の全体的な様子を述べていました。そして、「ゾウ」の体の各部分を順序よく話していました。特に、部分を話すときには、「まず」「次に」「さらに」などの言葉を用いて話題ごとに区切って話すといいでしょう。「ダンプカーのように」などの比喻を使うとより効果的でしょう。

それでは、問題に取り組みしましょう。

## 問題

ワークシートに描かれているある品物の名前をみんなに当ててもらおう「なぞなぞ」づくりをしたいと思っています。すぐ答えがわかってしまわないように、その品物の「部分」にあたるところを順序よく説明し、最後に「たねあかし」をする方法で、「なぞなぞ」をつくりなさい。

たとえば、ワークシートの例にある「風鈴」は次のように出題します。

「今からある品物について説明します。まず、しおりくらいの大きさの紙が一枚、ひもにつるされてゆらゆらゆれています。次に、そのひもをたどっていくと、鉄でできたおわんのようなものに出会います。そして、そのおわんは、夏になると家の軒先などに現れます。どうですか。その品物がわかりましたか。」  
 それでは、ワークシートのA・Bのどちらか一つを選んで「なぞなぞ」をつくりなさい。

では解答です。「A」を取り上げたなぞなぞの一例を聞いてみましょう。

「今からある品物について説明します。まず、金属の二つの小さな歯のついた細長いしっぽのようなものを持っています。次に、大きな音を立てて、うなりをあげているおなかを持っています。さらに、そのおなかには、大きな蛇のようなパイプが一本つながっています。最後に、そのパイプの先には、部屋にあるごまかな「ミ」をどんどん吸い込む口があります。どうですか。その品物がわかりましたか。」

これで練習を終わります。

話す力

トレーニング

全体と部分とを意識して話す力

ワークシート

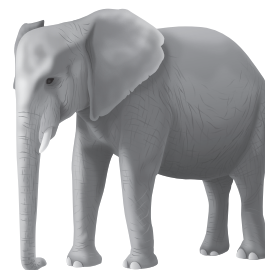
名前

組  
番

新しい国語のワーク■「話す・聞く」力を育てるCD 1年 秀学社

例

ゾウって？



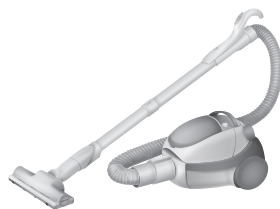
問題

なぞなぞづくり

例



①



②



メモ